



#### 漏水防止講座（東京会場第1回：11月4日～5日）

水道事業体及び賛助会員の漏水防止に従事する技術系職員の方々34名の参加を得て、「漏水防止概論」、「漏水防止の現状と課題」、「漏水防止作業」、「漏水探知技術」、「漏水機器の取り扱い」について研修を実施した。

なお、本年度は新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、漏水防止関連機器を使用した実地研修は中止とした。

#### 消費税実務講座（11月9日～10日）

水道業務に従事する事務担当者の方々18名の参加を得て、「国・地方公共団体の消費税」、「地方公営企業の消費税等の予算経理及び会計処理」（講師：中田ちず子 中田ビジネスコンサルティング代表 公認会計士・税理士）について研修を実施した。

#### 第746回抄録委員会（11月10日）

本誌2月号・3月号に掲載する外国文献の抄録内容等について審議を行った。

#### 水道技術管理者資格取得講習会（福岡会場：11月10日～12月1日）

水道法施行規則第14条第3号による登録機関として、32名の参加を得て、福岡市水道技術研修所にて「水道行政」、「公衆衛生・衛生管理」、「水道経営」、「水道基礎工学概論」、「水質管理」、「水道施設管理」について15日間の学科講習を実施した。

なお、学科講習修了者は「水道施設の技術的基準を定める省令第5条」に適合する汚過設備を有する水道施設において、15日間の実務講習を行う。

#### 第154回水道 GLP 認定委員会（11月17日）

水道 GLP 認定について、一般財団法人青森県薬剤師会（JWWA-GLP008）、株式会社東海分析化学研究所（JWWA-GLP010）、川崎市上下水道局（JWWA-GLP011）、下関市上下水道局（JWWA-GLP063）と株式会社再春館安心安全研究所（JWWA-GLP111）が認定維持検査機関として、それぞれ審議され決定された。

#### 水道事業管理職事務研修会（東京会場：11月19日）

水道事業体に従事する事務系管理職及び管理職を補佐するの方々23名の参加を得て、「水道事業経営と財政のポイント」、「水道事業における労働法体系並びに労務管理」、「地震等緊急時対応の手引きの改訂」、「水道事業における情報セキュリティ対策」について研修を実施した。

### 水道技術者研修会（Aコース：11月25日～27日）

水道事業者及び賛助会員の技術系職員（水道歴概ね3年未満）の方々37名の参加を得て、「水道計画」、「水道基礎工学」、「取水・貯水施設」、「導・送・配水施設」、「給水装置」、「浄水施設」、「機械・電気・計装設備」、「土木材料及び施工法・水道資材」、「水質管理」について研修を実施した。

なお、本年度は新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、「工場見学」及び「浄水場見学」は中止とした。

### 第990回会誌編集委員会（11月26日）

本誌12月号・1月号の編集方針、投稿原稿の査読、新規原稿の取扱い等について審議を行った。

### 令和3年度水道関係政府予算対策室（11月30日）

「来年度水道関係政府予算の満額確保（水道関係補助金・交付金概算要求額412億円※災害復旧費等を含む）」及び「国土強靱化の取組の加速化・深化を図るための持続的な予算の確保」に向け、令和3年度水道関係政府予算対策室を設置した。



### 令和2年度第5回理事会（11月30日）

吉田理事長が議長となり、報告事項として「公益社団法人日本水道協会の会務」について吉田理事長から説明があった。

続いて議案の審議に入り、議案「令和4年度日本水道協会全国会議の開催地方支部の変更について」が上程され、審議の結果、原案のとおり、令和4年度の同会議は中部地方支部、令和5年度は関東地方支部において開催することが決定した。なお、令和6年度以降は関西地方支部からの持ち回り順となる。



### 令和2年度第3回運営会議（11月30日）

吉田理事長が議長となり、報告事項1「東日本大震災被災地への復興支援」、報告事項2「令和2年度日本水道協会全国会議の中止に伴う各種取組」、報告事項3「令和2年度日本水道協会研修事業の実施状況」、報告事項4「IWA（国際水協会）会議・展示会」、報告事項5「広域化・公民連携情報プラットフォームのご案内」、報告事項6「日本水道協会検査事業等における新型コロナウイルス感染症に対応した規則の制定等」について、それぞれ事務局から報告があった。



続いて第1号議案「日本水道協会第97回総会会員提出問題の処理等」について、第2号議案「令和3年度日本水道協会全国会議の開催期日及び会場」についての2件が事務局より上程され、審議の結果、原案のとおり決定した。

会議終了後、第1号議案の議決に基づき、出席委員及び事務局により関係国会議員及び関係省庁に対し陳情を行った。

### 第159回水道事業管理者協議会（12月1日）

日本水道協会において、WEB会議システムを使用し開催された。

はじめに、メンバー都市から提案された情報交換事項①RPA等の事務効率化にかかるシステムの導入実績や検討状況について、②水道料金の過誤納（重複払い）の防止対策について、③管路更新を促進するための取組みについて、④新型コロナウイルス感染症の影響による水道料金支払困難者への対応について、⑤公共施設等運営権（コンセッション）事業について、それぞれ情報交換を行った。



続いて、日本水道協会工務部技術課の柴藤課長より、「地震等緊急時対応の手引きの改訂について」をテーマとした講演が行われた。